



「若鯨会」を知る

in 那古野

平成30年度委員会委員長 ～スペシャル座談会～

今回は若鯨会代表幹事奥野幸一朗氏の掲げた年間テーマ「決断する力」を具現化し、事業の運営責任者である6人の委員会委員長に、若鯨会についてざっくばらんに語り合っていました。



Q 他の団体との違いは?メリットは?

伊藤: 厳しさもそんなにないし、楽しく交流して、そこから輪を広げていける。
家田: 出席率が非常にいい。500人いる中で、全体事業に350人も参加するのは凄い事。
菱田: 公共性があるのでちゃんとしている。あと一年ごとに役職が変わるので新陳代謝がいい。

Q 若鯨会で学んだことは?

伊藤: 段取りの重要性。委員会では理論武装しないと、とりあえずやろうよは通用しない。いろいろ準備する必要があることを学んだ。
竹内: 経営の相談をして学んだことがある。同じ経営者として相談できる人が周りにいる。
押村: 組織運営の大切さや難しさ。
松本: お金の使い方。会員から預かった大切な会費の使い方は真剣に考えている。
菱田: 若鯨会はある意味自由だから、誰のことも恐れずに自由に発言ができて、自分と違ういろんな人がいるから勉強になる。それを真似してみると、新しい発見がある。いろんな考え方が会の中で許されている。尖っていても尖ってなくてもここにいられる。
竹内: 若鯨会は義務教育というよりは大学みたい。参加する人は参加してきっちりやるし、来ない人は大学に来ない人と同じで学べない。自分から積極的に発信することが大切。



Q 若鯨会を一文字、もしくは二文字の漢字で表すと?

松本: 『交流』
家田: 『友』大人になってからの友達作り。
伊藤: 『覚悟』経営者、リーダーとして覚悟の連続。その覚悟を学ぶ場。
押村: 『愛』
菱田: 『歓』皆で集まって一つのよろこびを作り合う。
竹内: 『虹』いろんな色があるところ。いろんな色があって若鯨会ができる。



「若鯨会」とは? What is the "WAKASHACHI-KAI"?

満50歳未満の若手経営者が集う異業種交流団体。今年で36年目を迎える若鯨会は創立以来、自主運営で事業活動を行っており会員の相互啓発と企業の持続的発展、地域経済の活性化への寄与を目的に、業種の壁を超えて活動しております。
14のグループ活動を基盤に、グループ間の交流、そして全体交流事業を組み合わせ、会員企業の経営力・技術力・情報力を活用し合って相乗効果を発揮しています。

新入会員募集中

資料請求はコチラ

お問い合わせ
お申込み先

名古屋商工会議所 中小企業部内 若鯨会事務局 担当/田中まで

Tel.052-223-5636 Fax.052-204-8521

詳しくはホームページにアクセスしてください。

<http://www.wakashachi.net/>

若鯨会

検索